

(別添資料1)

事業所名

セカンドハウスほっぴ

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

15日

法人（事業所）理念

あたりまえの生活を地域の中で

支援方針

★利用者の情報共有と支援統一 ★自己選択・自己決定ができる支援 ★保護者と情報共有しながら連携を図る ★学びの場の提供 ★関係機関との連携 ★研修への参加

営業時間

9 時 ,00 分から 17 時 ,00 分まで

送迎実施の有無

あり

なし

支 援 内 容

健康・生活

健康の増進、基本的な生活スキルの獲得を目指します。障がい特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすいように構造化します。

運動・感覚

日常生活に必要な、姿勢と運動・動作の基本的技能の向上を目指します。感覚統合遊びをを通して、楽しみながら身体の発達を促します。感覚や認知の特性を考慮し、環境調整等の提案及び支援を行います。

認知・行動

感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障がいの予防、適切な行動への対応支援を行います。

言語  
コミュニケーション

具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得や自発的な発信を促す支援を行います。一人一人の発達段階に対応するコミュニケーション手段を選定し、安心して意思の伝達ができるように支援します。（PECS：絵カード交換式コミュニケーションシステム、チョイスボード）

人間関係  
社会性

集団生活の中で、役割分担をしたり、ルールをまもることの大切さを視覚的に伝え、社会性や安定した人間関係の形成を支援します。

家族支援

家族が身近な地域の中で安心して過ごせるよう、助言や支援方法を一緒に考えます。

移行支援

卒業後やその他、移行先にスムーズに移行ができるよう、各関係機関との連携を図ります。

地域支援・地域連携

各関係機関と連携を強化し、ライフステージにおいて切れ目のない支援を行い、身近な地域の中で安心して過ごせるように支援します。

職員の質の向上

自閉症トレーニングセミナー、専門職療育関係（PECS等）への研修参加、自閉症eサービス仙台研修、個人での希望研修

主な行事等

おやつ作り、お誕生日会、水遊び、季節ごとの創作活動、クリスマス会、節分豆まき、レクリエーション